

1 (3) 女性の概況

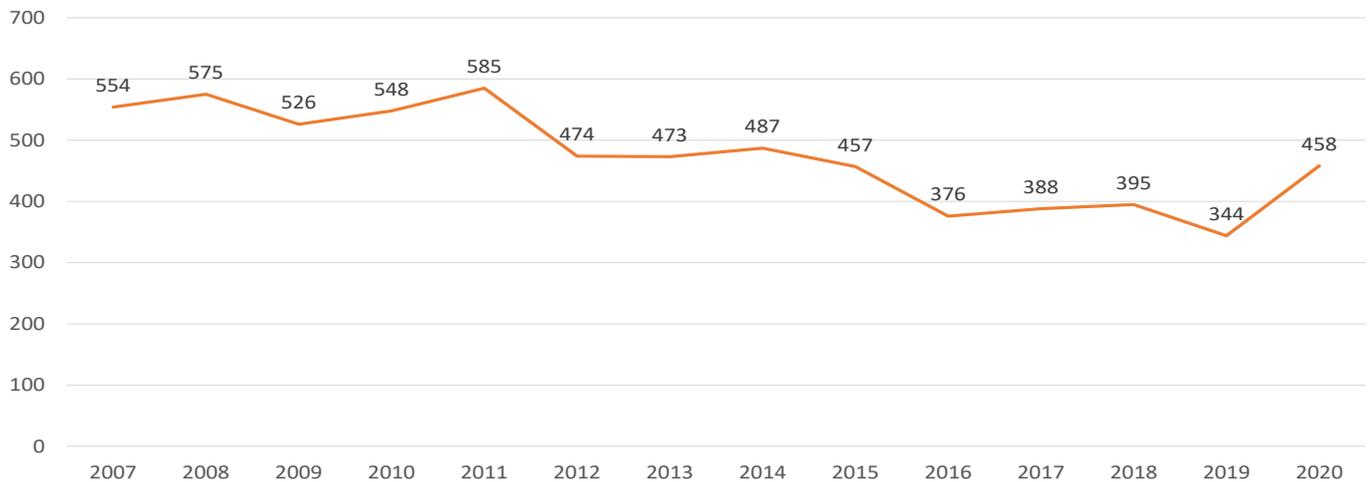
(3) 女性の概況

図表13-01

女性自殺者数の推移(2007年~2020年)

単位:人

(出典:警察庁「自殺統計」より神奈川県がん・疾病対策課作成)



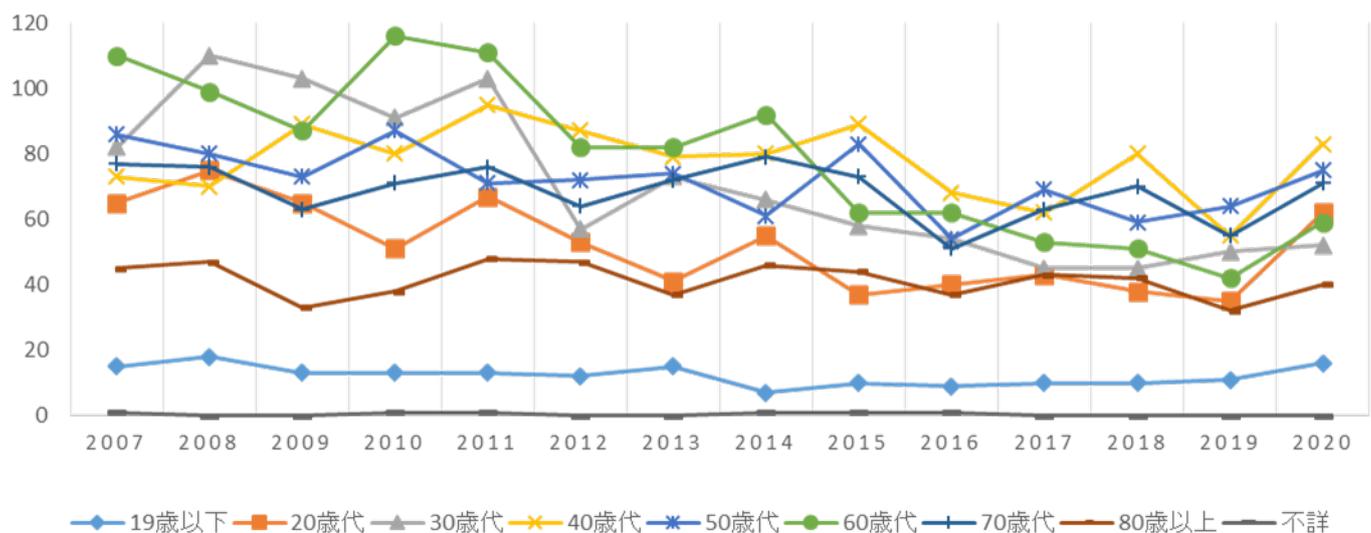
- 女性の自殺者は、2020年は前年比で114人(33.1%)増加し、458人となった。1年で100人を超えて増加したのは、2007年以降で初である。

図表13-02

年齢階級別女性自殺者数の推移(2007年~2020年)

単位:人

(出典:警察庁「自殺統計」より神奈川県がん・疾病対策課作成)



注) 年齢不詳は除外している。

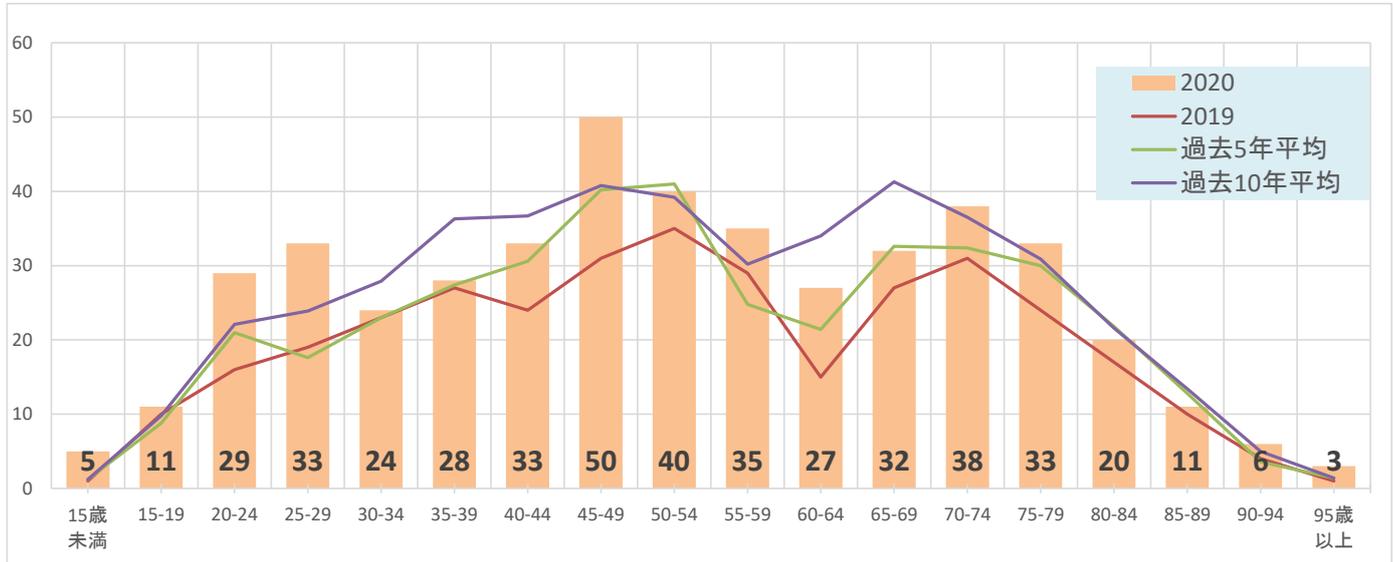
- 年齢階級別自殺者数の推移をみると、2007年以降、「20歳代~70歳代」はおおむね減少傾向、「19歳以下」と「80歳以上」が横ばいで推移してきたが、2020年は、すべての年代で前年より増加した。
- 前年比で特に増加が大きかったのは、「40歳代」と「20歳代」であった。

図表13-03

年齢階級別女性自殺者数の増減比較(2020年と過去5年平均との比較)

単位:人

(出典:警察庁「自殺統計」より神奈川県がん・疾病対策課作成)



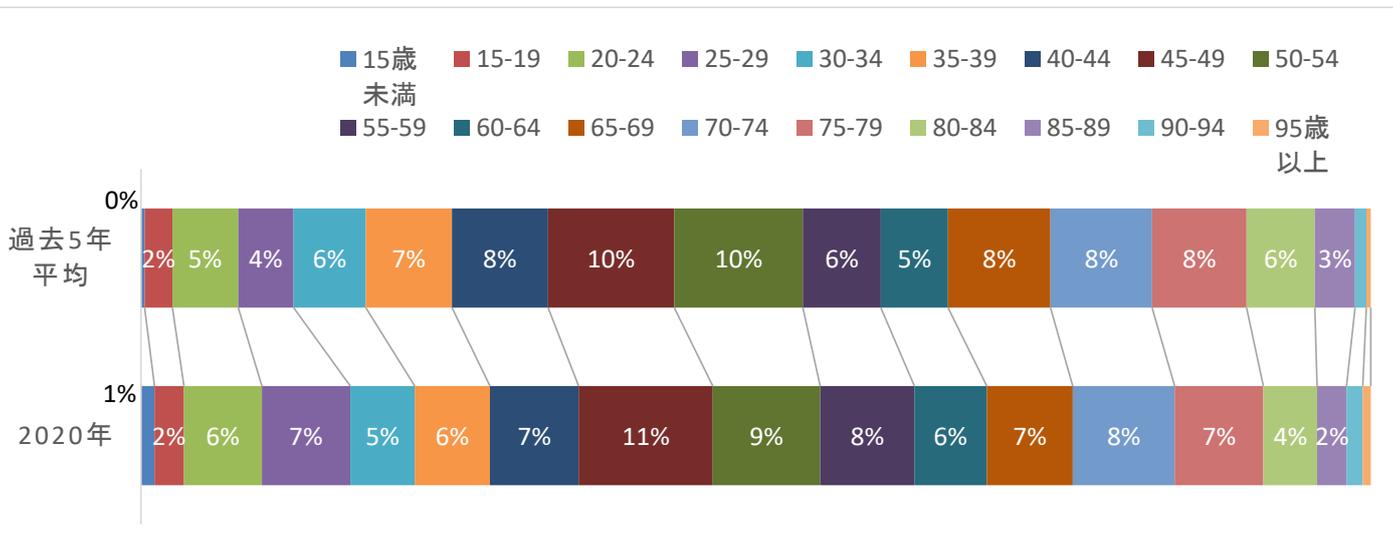
注)年齢不詳は除外している。

- 2020年の女性の自殺者数について、年齢階級別で見ると、「40歳代後半」が最も多く、次いで、「50歳代前半」、「70歳代前半」の順に多くなっている。
- 過去10年平均、5年平均との比較では、「20歳代前半及び後半」、「40歳代後半」が大きく上回っていることが特徴的である。

図表13-04

年齢階級別女性自殺者数の構成比(2020年と過去5年平均との比較)

(出典:警察庁「自殺統計」より神奈川県がん・疾病対策課作成)



注)年齢不詳は除外している。

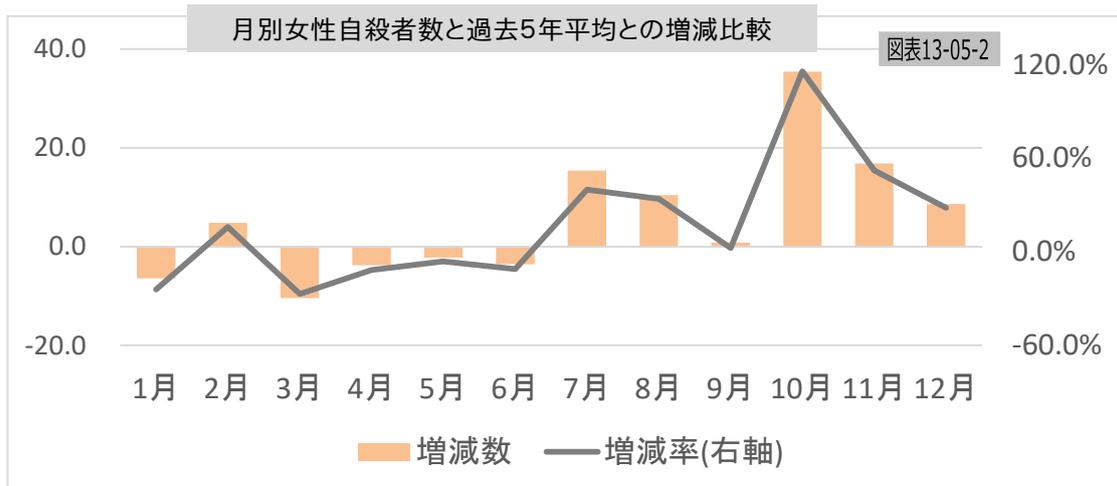
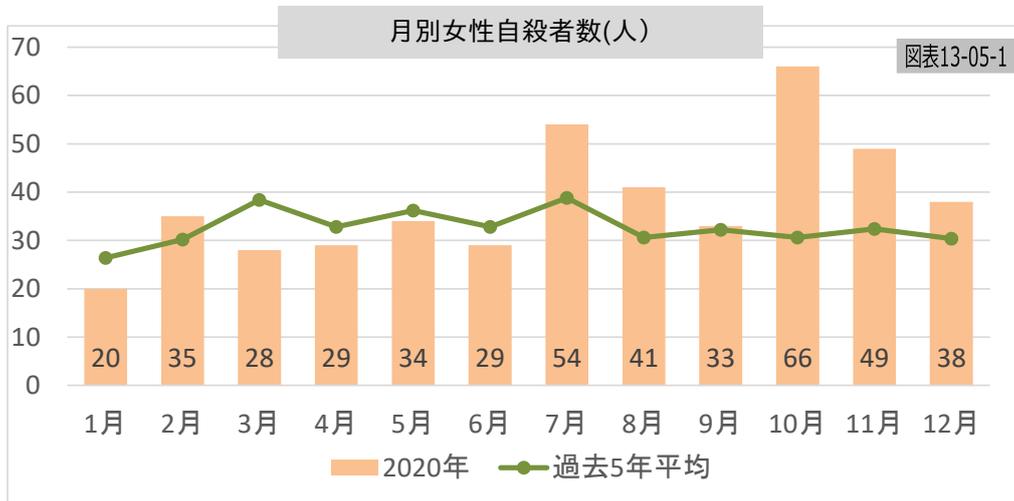
- 2020年の女性自殺者数の年齢階級別構成比を過去5年平均と比較すると、「25～29歳」が3ポイント増と、最も上昇した。

1 (3) 女性の概況

図表13-05

月別女性自殺者数の比較(2020年と過去5年平均との比較)

(出典:警察庁「自殺統計」より神奈川県がん・疾病対策課作成)



図表13-05-3

(女性)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年間
過去5年平均	26.4	30.2	38.4	32.8	36.2	32.8	38.8	30.6	32.2	30.6	32.4	30.4	391.8
2020年	20	35	28	29	34	29	54	41	33	66	49	38	456
増減数	-6.4	4.8	-10.4	-3.8	-2.2	-3.8	15.2	10.4	0.8	35.4	16.6	7.6	64.2
増減率	-24.2%	15.9%	-27.1%	-11.6%	-6.1%	-11.6%	39.2%	34.0%	2.5%	115.7%	51.2%	25.0%	16.4%

注)自殺月で集計している。自殺月不詳は除外している。

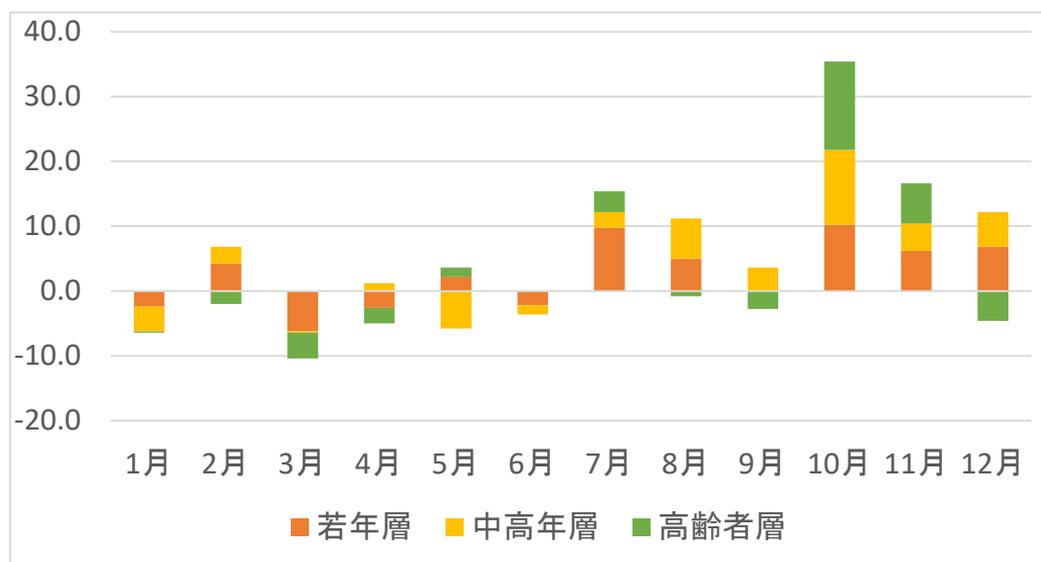
- 2020年の女性の月別自殺者数の推移をみると、「10月」が最も多く、「1月」が最も少なくなっている(図表13-05-1)。
- 月別自殺者数について、過去5年平均と比較すると、「6月」までは「2月」を除き下回ったが、「7月」以降は継続して上回った。年間では、上半期の減少が下半期の増加を下回ったため、64.2人の増加となった(図表13-05-2,図表13-05-3)。
- また、増加数が最も多かったのは、「10月」で35.4人(115.7%)の増であった(図表13-05-2,図表13-05-3)。

図表13-06

年齢階級別女性自殺者数の月別増減比較(2020年と過去5年平均との比較)

単位:人

(出典:警察庁「自殺統計」より神奈川県がん・疾病対策課作成)



(女性)		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年間
若年層	40歳未満	-2.4	4.2	-6.2	-2.6	2.2	-2.2	9.8	5.0	0.0	10.2	6.2	6.8	31.0
中高年層	40~64歳	-3.8	2.6	-0.2	1.2	-5.8	-1.4	2.4	6.2	3.6	11.6	4.2	5.4	26.0
高齢者層	65歳以上	-0.2	-2.0	-4.0	-2.4	1.4	0.0	3.2	-0.8	-2.8	13.6	6.2	-4.6	7.6
合計		-6.4	4.8	-10.4	-3.8	-2.2	-3.6	15.4	10.4	0.8	35.4	16.6	7.6	64.6

注)自殺月で集計している。年齢不詳、自殺月不詳は除外している。

- 2020年の女性の自殺者数は過去5年平均を「7月」に大きく上回り、「12月」までほぼ継続して上回った。
- 年齢階級別にみると、特に、女性の自殺者が最も増加が多かった「10月」のほか、「7月」や「11月」では、すべての年齢層で増加している。
- また、年間では、「若年層」が最も多く31.0人の増、次いで「中高年層」26.0人、「高齢者層」7.6人の順となっている。

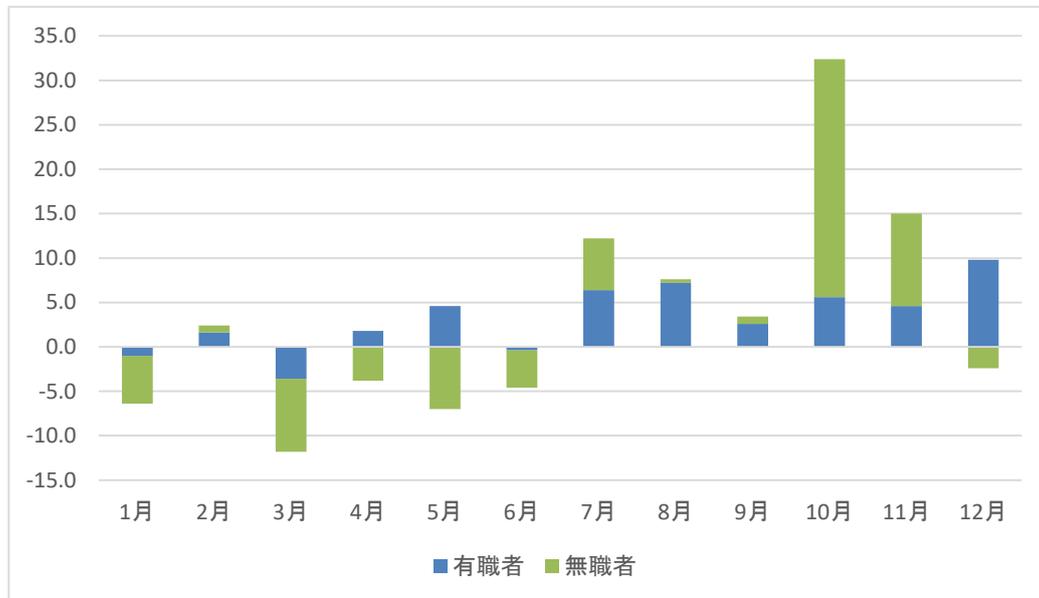
1 (3) 女性の概況

図表13-07

職業有無別女性自殺者数の月別増減比較(2020年と過去5年平均との比較)

単位:人

(出典:警察庁「自殺統計」より神奈川県がん・疾病対策課作成)



(女性)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年間
有職者	-1.0	1.6	-3.6	1.8	4.6	-0.4	6.4	7.2	2.6	5.6	4.6	9.8	39.2
無職者	-5.4	0.8	-8.2	-3.8	-7.0	-4.2	5.8	0.4	0.8	26.8	10.4	-2.4	14.0

注)自殺月で集計している。職業不詳、自殺月不詳は除外している。

- 2020年の女性の職業有無別自殺者数を月別で過去5年平均と比較すると、「有職者」は、過去5年平均を上回る月が多かったが、「無職者」は上半期は減少傾向、下半期は増加傾向で、年間では、「有職者」が39.2人の増、「無職者」が14.0人の増となった。
- 過去5年平均と比べ、女性の自殺者数が最も増加した「10月」については、「無職者」が大きく増加した。

図表13-08

職業別女性自殺者数の増減比較(2020年と過去5年平均との比較)

単位:人

(出典:警察庁「自殺統計」より神奈川県がん・疾病対策課作成)

自殺者数(人)

図表13-08-1

		過去5年平均	2020年	増減数	増減率
有職者	自営業・家族従業者	7.8	13	5.2	67%
	被雇用者・勤め人	65.0	99	34.0	52%
無職者	主婦	97.6	112	14.4	15%
	失業者	4.0	6	2.0	50%
	その他無職者	197.8	196	-1.8	-1%
	学生・生徒等	15.6	28	12.4	79%

注) 職業不詳は除外している。

図表13-08-2



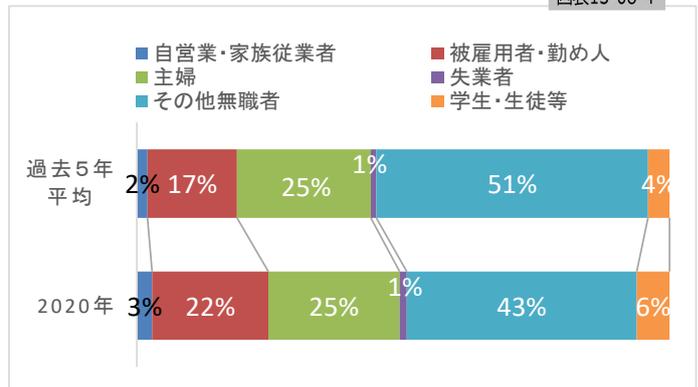
構成比(%)

図表13-08-3

		過去5年平均	2020年
有職者	自営業・家族従業者	2%	3%
	被雇用者・勤め人	17%	22%
無職者	主婦	25%	25%
	失業者	1%	1%
	その他無職者	51%	43%
	学生・生徒等	4%	6%

注) 職業不詳は除外している。

図表13-08-4



年齢階級別(人)

図表13-08-5

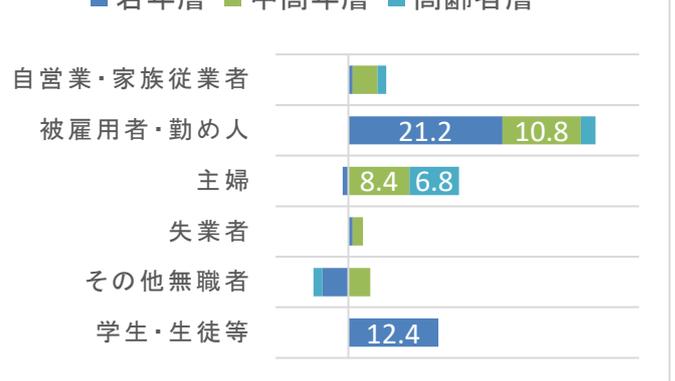
		若年層	中高年層	高齢者層
		40歳未満	40~64歳	65歳以上
有職者	自営業・家族従業者	0.6	3.4	1.2
	被雇用者・勤め人	21.2	10.8	2.0
無職者	主婦	-0.8	8.4	6.8
	失業者	0.6	1.4	0.0
	その他無職者	-3.6	3.0	-1.2
	学生・生徒等	12.4	0.0	0.0

注) 職業不詳、年齢不詳は除外している。

注) 「その他無職者」は、無職者のうち主婦、失業者を除くもので、利子・配当・家賃生活者、年金・雇用保険等生活者、浮浪者及びその他の無職者に分類されるものをまとめている。

若年層 中高年層 高齢者層

図表13-08-6



- 2020年の女性の職業別自殺者数を構成比で過去5年平均と比較すると、「被雇用者・勤め人」が5ポイントと最も上昇し、「学生・生徒等」が2ポイント上昇した(図表13-08-3,図表13-08-4)。
- 自殺者数で過去5年平均と比較すると、「有職者」は、「被雇用者・勤め人」が34.0人、「無職者」は、「主婦」が14.4人とそれぞれ最も増加した。また、「学生・生徒等」が12.4人増加した(図表13-08-1,図表13-08-2)。
- また、過去5年平均と比較して増加が大きかった「被雇用者・勤め人」や「学生・生徒等」では「若年層」が、「主婦」では、「中高年層」での増加が目立った(図表13-08-5,図表13-08-6)。

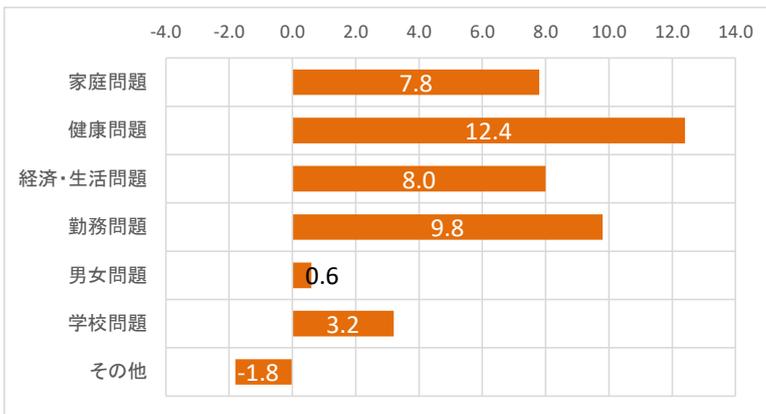
1 (3) 女性の概況

図表13-09

原因・動機別女性自殺者数の増減比較(2020年と過去5年平均との比較)

単位:人

(出典:警察庁「自殺統計」より神奈川県がん・疾病対策課作成)



	過去5年平均	2020年	増減
家庭問題	75.2	83	7.8
健康問題	201.6	214	12.4
経済・生活問題	20.0	28	8.0
勤務問題	11.2	21	9.8
男女問題	16.4	17	0.6
学校問題	5.8	9	3.2
その他	24.8	23	-1.8

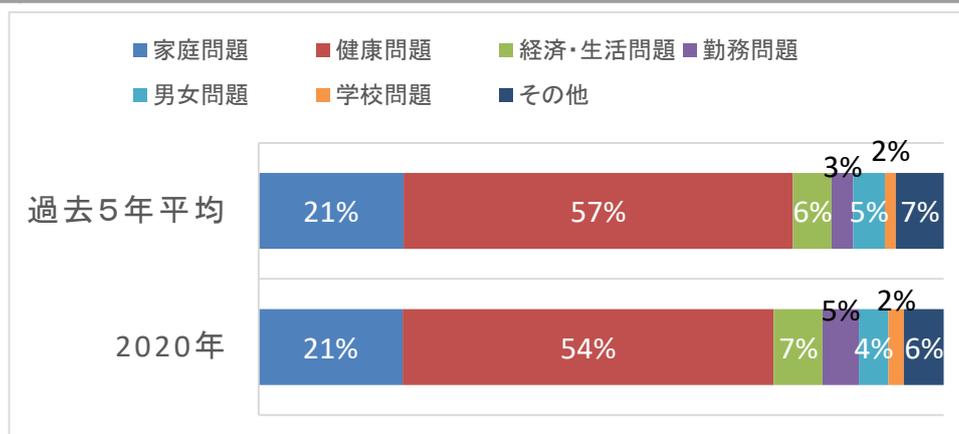
注)原因・動機不詳は除外している。原因・動機については、自殺者一人につき最大3つまで計上可能であるため、自殺者数とは異なる。

- 2020年の女性自殺者の原因・動機別の状況について、過去5年平均と比較すると、「その他」を除き、すべての区分で増加している。
- 「健康問題」が12.4人と最も多く増加し、次いで、「勤務問題」が9.8人の増加、「経済・生活問題」が8.0人の増加となっている。

図表13-10

原因・動機別女性自殺者数構成比の増減比較(2020年と過去5年平均との比較)

(出典:警察庁「自殺統計」より神奈川県がん・疾病対策課作成)



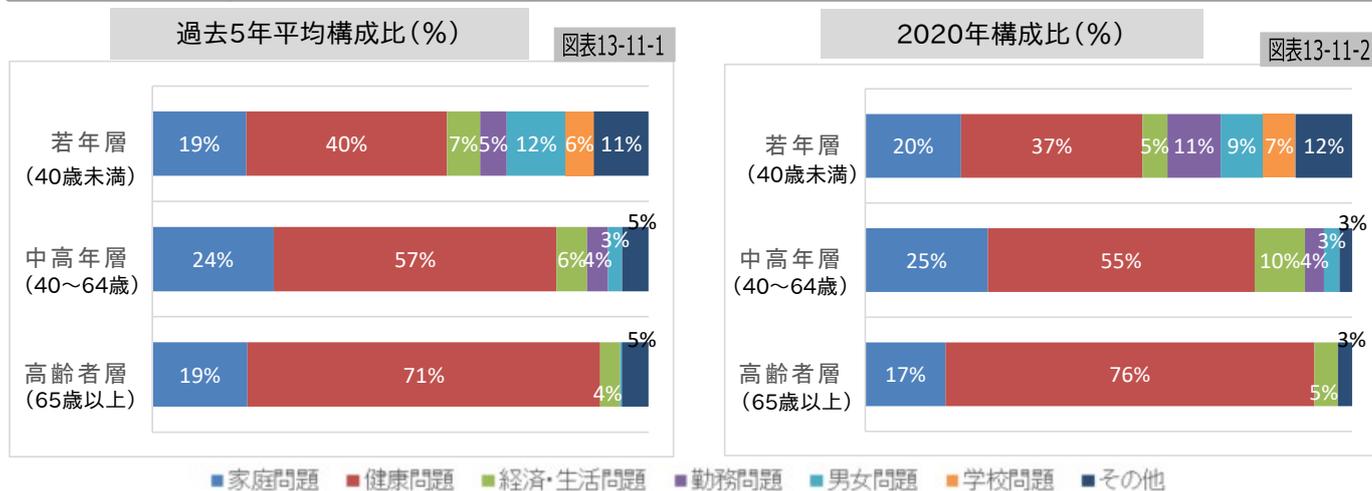
注)原因・動機不詳は除外している。原因・動機については、自殺者一人につき最大3つまで計上可能であるため、自殺者数とは異なる。

- 2020年の女性自殺者の原因・動機別の構成比では、「健康問題」が54%と最も多く、次いで、「家庭問題」、「経済・生活問題」の順となった。女性は、男性と比較して、「健康問題」や「家庭問題」の比率が高い。
- また、過去5年平均と比較すると、「勤務問題」と「経済・生活問題」が増加し、「健康問題」が低下した。

図表13-11

年齢階級別、原因・動機別女性自殺者数の構成比比較(2020年と過去5年平均との比較)

(出典:警察庁「自殺統計」より神奈川県がん・疾病対策課作成)



注) 年齢不詳、原因・動機不詳は除外している。原因・動機については、自殺者一人につき最大3つまで計上可能であるため、自殺者数とは異なる。

- 女性自殺者の原因・動機別の構成比を年齢階級別に過去5年平均と比較すると、2020年は「若年層」では、「勤務問題」が6ポイントと最も上昇した(図表13-11-1,図表13-11-2)。
- 「中高年層」では、「経済・生活問題」が4ポイントと最も上昇した(図表13-11-1,図表13-11-2)。
- 「高齢者層」では、「健康問題」が5ポイントと最も上昇した(図表13-11-1,図表13-11-2)。

図表13-12

年齢階級別、原因・動機別女性自殺者数の増減比較(2020年と過去5年平均との比較)

単位:人

(出典:警察庁「自殺統計」より神奈川県がん・疾病対策課作成)

	若年層 (40歳未満)			中高年層 (40~64歳)			高齢者層 (65歳以上)		
	過去5年平均	2020年	増減	過去5年平均	2020年	増減	過去5年平均	2020年	増減
家庭問題	19.2	27	7.8	34	39	5.0	22	17	-5
健康問題	41	51	10.0	79.2	85	5.8	81.4	78	-3.4
経済・生活問題	6.8	7	0.2	8.6	16	7.4	4.6	5	0.4
勤務問題	5.4	15	9.6	5.8	6	0.2	0	0	0
男女問題	12	12	0	4	5	1.0	0.4	0	-0.4
学校問題	5.8	9	3.2	0	0	0.0	0	0	0
その他の問題	11.2	16	4.8	7.4	4	-3.4	6.2	3	-3.2

注) 年齢不詳、原因・動機不詳は除外している。原因・動機については、自殺者一人につき最大3つまで計上可能であるため、自殺者数とは異なる。

- 2020年の女性自殺者について、年齢階級別に自殺の原因・動機を過去5年平均と比較すると、「若年層」では、「男女問題」を除くすべての項目で増加した。最も増加したのは、「健康問題」で、次いで、「勤務問題」、「家庭問題」の順に多く増加した。
- 「中高年層」では、「経済・生活問題」が最も増加し、次いで、「健康問題」、「家庭問題」の順に多く増加した。
- 「高齢者層」では、「経済・生活問題」のみが増加した。

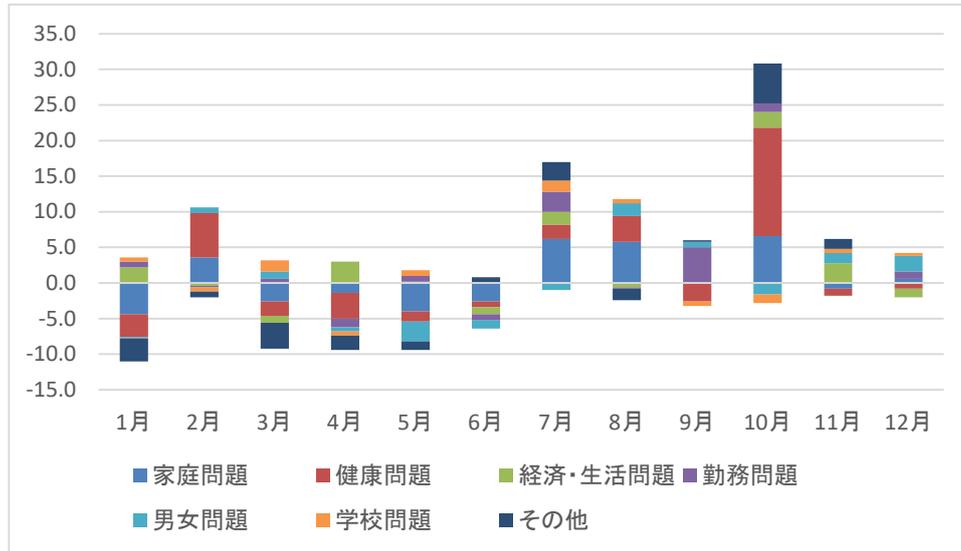
1 (3) 女性の概況

図表13-13

原因・動機別、月別女性自殺者数の増減比較 (2020年と過去5年平均との比較)

単位:人

(出典:警察庁「自殺統計」より神奈川県がん・疾病対策課作成)



原因・動機	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年間
家庭問題	-4.4	3.6	-2.6	-1.4	-4.0	-2.6	6.2	5.8	0.0	6.6	-0.8	0.6	7.0
健康問題	-3.2	6.2	-2.0	-3.6	-1.4	-0.8	2.0	3.6	-2.6	15.2	-1.0	-0.8	11.6
経済・生活問題	2.2	-0.4	-1.0	3.0	0.2	-1.0	1.8	-0.6	0.0	2.2	2.8	-1.2	8.0
勤務問題	0.8	-0.2	0.6	-1.2	0.8	-0.8	2.8	-0.2	5.0	1.2	0.0	1.0	9.8
男女問題	-0.2	0.8	1.0	-0.6	-2.8	-1.2	-1.0	1.8	0.8	-1.6	1.4	2.2	0.6
学校問題	0.6	-0.6	1.6	-0.6	0.8	0.0	1.6	0.6	-0.6	-1.2	0.6	0.4	3.2
その他	-3.2	-0.8	-3.6	-2.0	-1.2	0.8	2.6	-1.6	0.2	5.6	1.4	0.0	-1.8

注)自殺月で集計している。原因・動機不詳、自殺月不詳は除外している。

原因・動機については、自殺者一人につき最大3つまで計上可能であるため、自殺者数とは異なる。

- 2020年の女性の自殺者数を、月別、原因・動機別で過去5年平均と比較すると、女性の自殺者数が継続して増加に転じた「7月」は「家庭問題」の増加が目立っている。
- 年間の合計で見ると過去5年平均と比べ増加が多かった上位3位は、①「健康問題」②「勤務問題」③「経済・生活問題」であった。

図表13-14

原因・動機別、年齢階級別女性自殺者数の期別増減比較(2020年と過去5年平均との比較)

単位:人

(出典:警察庁「自殺統計」より神奈川県がん・疾病対策課作成)

	上半期			下半期		
	過去5年平均	2020年	増減	過去5年平均	2020年	増減
若年層(40歳未満)						
家庭問題	10.8	4	-6.8	8.4	23	14.6
健康問題	22.8	22	-0.8	18.2	29	10.8
経済・生活問題	2.4	1	-1.4	4.4	6	1.6
勤務問題	2.4	4	1.6	3	11	8.0
男女問題	4.6	2	-2.6	7.4	10	2.6
学校問題	2.2	4	1.8	3.6	5	1.4
その他の問題	7	1	-6.0	4.2	15	10.8
合計	52.2	38	-14.2	49.2	99	49.8
中高年層(40~64歳)						
家庭問題	16.2	15	-1.2	17.8	23	5.2
健康問題	40.2	39	-1.2	38.8	46	7.2
経済・生活問題	4.6	8	3.4	4	8	4.0
勤務問題	2.6	1	-1.6	3.2	5	1.8
男女問題	2.2	2	-0.2	1.8	3	1.2
その他の問題	4.4	1	-3.4	3	3	0.0
合計	70.2	66	-4.2	68.6	88	19.4
高齢者層(65歳以上)						
家庭問題	10.4	7	-3.4	11.4	10	-1.4
健康問題	40.8	38	-2.8	40.6	39	-1.6
経済・生活問題	2	3	1.0	2.6	2	-0.6
勤務問題	0	0	0.0	0	0	0.0
男女問題	0.2	0	-0.2	0.2	0	-0.2
その他の問題	3.6	3	-0.6	2.6	0	-2.6
合計	57	51	-6.0	57.4	51	-6.4

注)自殺月で集計している。年齢不詳、自殺月不詳、原因・動機不詳は除外している。

原因・動機については、自殺者一人につき最大3つまで計上可能であるため、自殺者数とは異なる。

- 2020年の女性自殺者について、期別・年齢階級別に自殺の原因・動機を過去5年平均と比較した。
- 「若年層」は、上半期はほぼ減少傾向であったが、「学校問題」、「勤務問題」で増加した。下半期はすべての項目で増加し、最も増加したものは、「家庭問題」で、次いで「健康問題」及び「その他の問題」、「勤務問題」の順であった。
- 「中高年層」は、上半期は、「経済・生活問題」のみが増加した。下半期はほぼすべての項目で増加し、最も増加したものは、「健康問題」、次いで「家庭問題」の順であった。
- 「高齢者層」は上半期は、「経済・生活問題」のみが増加した。下半期は、ほぼすべての項目で減少した。

1 (3) 女性の概況

図表13-15

職業有無別、原因・動機別女性自殺者数の期別増減比較(2020年と過去5年平均との比較)

単位:人

(出典:警察庁「自殺統計」より神奈川県がん・疾病対策課作成)

若年層(40歳未満) 女性

図表13-15-1

		上半期	下半期	年間
有職者	家庭問題	-0.6	8.4	7.8
	健康問題	2.4	3.0	5.4
	経済・生活問題	0.6	2.2	2.8
	勤務問題	1.6	6.2	7.8
	男女問題	-1.0	2.0	1.0
	学校問題	0.0	0.0	0.0
	その他の問題	-1.8	3.4	1.6
無職者	家庭問題	-5.6	5.4	-0.2
	健康問題	-7.0	6.2	-0.8
	経済・生活問題	-1.8	-1.2	-3.0
	勤務問題	0.0	1.8	1.8
	男女問題	-1.2	0.8	-0.4
	学校問題	0.0	-0.2	-0.2
	その他の問題	-2.4	1.6	-0.8

中高年層(40~64歳) 女性

図表13-15-2

		上半期	下半期	年間
有職者	家庭問題	-1.6	1.0	-0.6
	健康問題	-4.6	2.0	-2.6
	経済・生活問題	-0.2	2.2	2.0
	勤務問題	-1.6	-1.0	-2.6
	男女問題	-0.4	1.2	0.8
	学校問題	0.0	0.0	0.0
	その他の問題	-1.6	-1.0	-2.6
無職者	家庭問題	0.6	3.4	4.0
	健康問題	4.4	5.4	9.8
	経済・生活問題	3.8	2.2	6.0
	勤務問題	0.0	2.8	2.8
	男女問題	0.2	-1.0	-0.8
	学校問題	0.0	0.0	0.0
	その他の問題	-1.8	1.0	-0.8

高齢者層(65歳以上) 女性

図表13-15-3

		上半期	下半期	年間
有職者	家庭問題	0.6	0.6	1.2
	健康問題	-0.4	1.0	0.6
	経済・生活問題	-0.2	-1.0	-1.2
	勤務問題	0.0	0.0	0.0
	男女問題	0.0	0.0	0.0
	学校問題	0.0	0.0	0.0
	その他の問題	-0.4	-0.4	-0.8
無職者	家庭問題	-4.0	-2.0	-6.0
	健康問題	-2.4	-2.4	-4.8
	経済・生活問題	1.2	0.4	1.6
	勤務問題	0.0	0.0	0.0
	男女問題	-0.2	-0.2	-0.4
	学校問題	0.0	0.0	0.0
	その他の問題	-0.2	-2.2	-2.4

- 2020年の女性自殺者について、さらに、年齢階級別に職業有無別の原因・動機を過去5年平均と比較した。
- 「若年層」は、下半期の増加が目立ったが、下半期の原因・動機は、「有職者」では「家庭問題」が最も増加し、次いで「勤務問題」が、「無職者」では「健康問題」が最も増加し、次いで「家庭問題」が増加した(図表13-15-1)。
- 「中高年層」は、「有職者」では、下半期の「経済・生活問題」が最も増加した。「無職者」では、上半期では「健康問題」と「経済・生活問題」が、下半期では「健康問題」と「家庭問題」が主に増加した(図表13-15-2)。
- 「高齢者層」については、年間を通じて、「有職者」では「家庭問題」が、「無職者」では「経済・生活問題」が増加した(図表13-15-3)。

注)自殺月で集計している。

年齢不詳、職業不詳、自殺月不詳、原因・動機不詳は除外している。原因・動機については、自殺者一人につき最大3つまで計上可能であるため、自殺者数とは異なる。

図表13-16

職業有無別、原因・動機(小分類)別女性自殺者数の比較(2020年と過去5年平均との比較)

(出典:警察庁「自殺統計」より神奈川県がん・疾病対策課作成)

区分:有職者 女性				図表13-16-1	
2020年の構成比の上位を表示		2020	2019	過去5年	大分類
順位	原因動機小分類	n=96	n=77	n=377	
1	病気の悩み・影響(うつ病)	25.0%	23.4%	23.9%	健康
2	夫婦関係の不和	7.3%	1.3%	5.3%	家庭
3	職場の人間関係	6.3%	3.9%	4.2%	勤務
4	家庭問題その他	5.2%	0.0%	3.2%	家庭
5	生活苦	4.2%	1.3%	1.6%	経済生活
6	親子関係の不和	3.1%	3.9%	2.4%	家庭
6	家族の死亡	3.1%	1.3%	2.7%	家庭
6	子育ての悩み	3.1%	5.2%	1.9%	家庭
6	病気の悩み(身体の病気)	3.1%	5.2%	6.1%	健康
6	病気の悩み・影響(統合失調症)	3.1%	0.0%	3.2%	健康
6	健康問題その他	3.1%	1.3%	1.1%	健康

区分:無職者 女性				図表13-16-2	
2020年の構成比の上位を表示		2020	2019	過去5年	大分類
順位	原因動機小分類	n=264	n=240	n=1291	
1	病気の悩み・影響(うつ病)	32.2%	29.2%	30.1%	健康
2	病気の悩み(身体の病気)	16.7%	13.3%	16.5%	健康
3	病気の悩み・影響(その他の精神疾患)	8.0%	5.4%	6.2%	健康
4	病気の悩み・影響(統合失調症)	6.1%	5.4%	7.3%	健康
5	家族の将来悲観	4.5%	2.5%	2.4%	家庭
6	夫婦関係の不和	4.2%	2.9%	3.6%	家庭
7	家庭問題その他	3.0%	2.9%	1.9%	家庭
7	生活苦	3.0%	2.1%	1.9%	経済生活

注)原因・動機不詳は除外している。原因・動機については、自殺者一人につき最大3つまで計上可能であるため、自殺者数とは異なる。

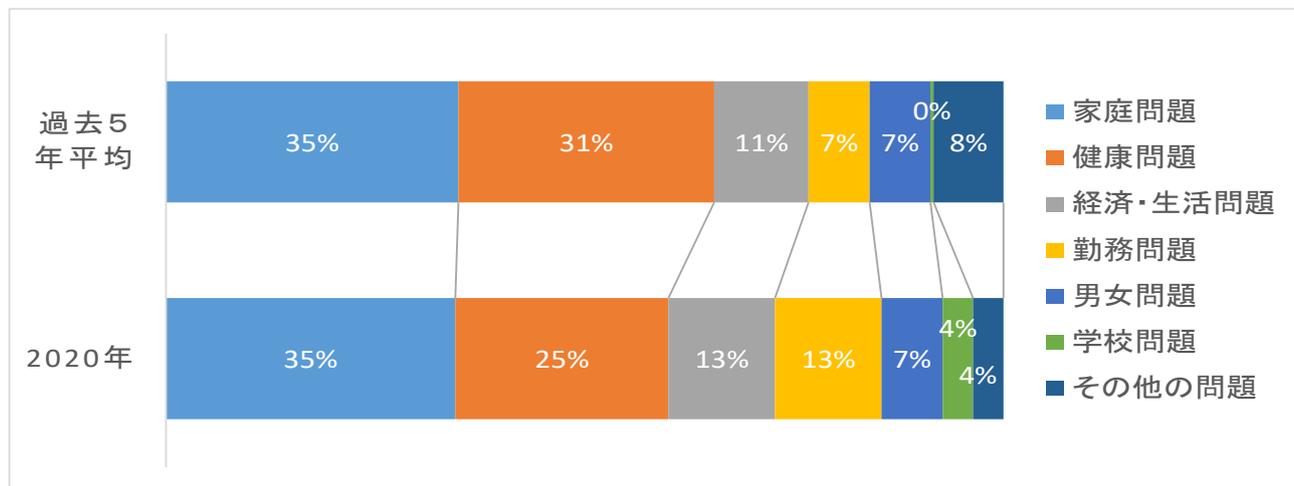
- 女性の自殺者の原因・動機(小分類)を有職者・無職者別に過去5年平均と比較した。
- 「有職者」は、2020年は「病気の悩み・影響(うつ病)」が最も多く、次いで、「夫婦関係の不和」、「職場の人間関係」の順であり、これらの原因・動機は、いずれも過去5年平均と比較して、比率が上昇した(図表13-16-1)。
- 「無職者」は、2020年は「病気の悩み・影響(うつ病)」が最も多く、次いで、「病気の悩み(身体の病気)」、「病気の悩み・影響(その他の精神疾患)」の順であり、これらの原因・動機はいずれも過去5年平均と比較して比率が上昇した(図表13-16-2)。

1 (3) 女性の概況

図表13-17

うつ病と併せて計上された原因・動機の比較(2020年と過去5年平均との比較)

(出典:警察庁「自殺統計」より神奈川県がん・疾病対策課作成)



注)原因・動機不詳は除外している。原因・動機については、自殺者一人につき最大3つまで計上可能であるため、自殺者数とは異なる。

- うつ病は、「経済・生活問題」や「家庭問題」、「勤務問題」等、他の問題が深刻化する中で、発症することも多いと考えられることから、女性自殺者の原因・動機の上位にある「病気の悩み・影響(うつ病)」と併せて計上された原因・動機について調べた。
- 構成比で見ると、2020年は、「病気の悩み・影響(うつ病)」と併せて計上された要因は、「家庭問題」が最も多く、次いで、「健康問題」、「経済・生活問題」・「勤務問題」の順に多かった。
- 過去5年平均と比較すると、「勤務問題」が6ポイントと最も上昇し、次いで、「学校問題」が4ポイント上昇した。

図表13-18

原因・動機(小分類)別女性自殺者数の期別増減比較(2020年と過去5年平均との比較)

単位:人

(出典:警察庁「自殺統計」より神奈川県がん・疾病対策課作成)

	家庭問題		
	上半期	下半期	年間
親子関係の不和	-1.6	-0.6	-2.2
夫婦関係の不和	-0.6	5.4	4.8
その他家族関係の不和	-2.0	-2.2	-4.2
家族の死亡	-3.4	2.0	-1.4
家族の将来悲観	1.6	3.4	5.0
家族からのしつけ・叱責	-0.8	2.2	1.4
子育ての悩み	-1.0	1.4	0.4
被虐待	0.0	0.0	0.0
介護・看病疲れ	-1.0	-2.2	-3.2
家庭問題その他	-2.6	9.0	6.4

	健康問題		
	上半期	下半期	年間
病気の悩み(身体の病気)	-0.8	0.4	-0.4
病気の悩み・影響(うつ病)	-0.6	15.8	15.2
病気の悩み・影響(統合失調症)	1.4	-3.0	-1.6
病気の悩み・影響(アルコール依存症)	-1.6	-0.2	-1.8
病気の悩み・影響(薬物乱用)	-0.4	-0.2	-0.6
病気の悩み・影響(その他の精神疾患)	-1.0	3.2	2.2
身体障害の悩み	-0.6	-1.0	-1.6
健康問題その他	-1.2	1.4	0.2

	経済・生活問題		
	上半期	下半期	年間
倒産	0.0	0.0	0.0
事業不振	-0.2	-0.6	-0.8
失業	0.0	0.4	0.4
就職失敗	-0.2	0.8	0.6
生活苦	4.2	1.4	5.6
負債(多重債務)	0.6	0.0	0.6
負債(連帯保証債務)	0.0	0.0	0.0
負債(その他)	-0.4	-1.4	-1.8
借金の取り立て苦	-0.2	1.0	0.8
自殺による保険金支給	-0.2	0.0	-0.2
経済生活問題その他	-0.6	3.4	2.8

● 2020年の女性の自殺者の原因・動機(小分類)別について、過去5年平均と比較した。

● 「家庭問題」は、下半期の「家庭問題その他」が最も増加し、次いで、「夫婦関係の不和」が増加した。

● 「健康問題」は、特に下半期の「病気の悩み・影響(うつ病)」が増加した。

● 「経済・生活問題」は、主に、上半期の「生活苦」が最も増加し、次いで、下半期の「経済生活問題その他」が増加した。

注)自殺月で集計している。自殺月不詳、原因・動機不詳は除外している。

原因・動機については、自殺者一人につき最大3つまで計上可能であるため、自殺者数とは異なる。

1 (3) 女性の概況

図表13-19

原因・動機(小分類)別女性自殺者数の期別増減比較(2020年と過去5年平均との比較)

単位:人

(出典:警察庁「自殺統計」より神奈川県がん・疾病対策課作成)

	勤務問題		
	上半期	下半期	年間
仕事の失敗	1.0	-0.8	0.2
職場の人間関係	0.4	5.4	5.8
職場環境の変化	-0.8	2.8	2.0
仕事疲れ	-0.8	1.4	0.6
勤務問題その他	0.2	1.0	1.2

- 「勤務問題」は、下半期の増加が特徴的で、そのうち「職場の人間関係」の増が最も多く、次いで、「職場環境の変化」が多かった。

	男女問題		
	上半期	下半期	年間
結婚をめぐる悩み	-0.2	0.4	0.2
失恋	0.2	0.2	0.4
不倫の悩み	-0.8	1.0	0.2
その他交際をめぐる悩み	-2.2	0.6	-1.6
男女問題その他	0.0	1.4	1.4

- 「男女問題」は、下半期に増加した。主なものは「男女問題その他」であった。

	学校問題		
	上半期	下半期	年間
入試に関する悩み	-0.2	-0.2	-0.4
その他進路に関する悩み	-0.8	0.8	0.0
学業不振	1.4	0.6	2.0
教師との人間関係	0.0	-0.2	-0.2
いじめ	1.0	0.0	1.0
その他学友との不和	0.8	-0.2	0.6
学校問題その他	-0.4	0.6	0.2

- 「学校問題」は、上半期に「学業不振」、「いじめ」でやや増加し、下半期で、「その他進路に関する悩み」、「学業不振」及び「学校問題その他」がやや増加した。

	その他の問題		
	上半期	下半期	年間
犯罪発覚等	0.0	-0.2	-0.2
犯罪被害	0.2	0.8	0.6
後追い	-1.8	1.8	0.0
孤独感	-1.6	3.2	1.6
近隣関係	-0.4	1.8	1.4
その他問題その他	-6.0	0.8	-5.2

- 「その他の問題」は、下半期の「孤独感」が最も増加した。

注)自殺月で集計している。自殺月不詳、原因・動機不詳は除外している。

原因・動機については、自殺者一人につき最大3つまで計上可能であるため、自殺者数とは異なる。

女性の概況まとめ

- 2020年の女性の自殺者数は、前年比114人増の458人となったが、1年で100人を超えて増加したのは、2007年以降で初である。
- 年齢階級別では、「20歳代」が過去5年平均を大きく上回ったことが特徴的であった。「20歳代女性」の自殺者数を職業別でみると、「被雇用者・勤め人」が最も多く、次いで、「その他の無職者」、「学生・生徒等」の順となっており、原因・動機別では、「健康問題」が最も多く、次いで、「家庭問題」、「男女問題」、「その他」の順であった。（※付録参照）
- 職業別では、過去5年平均と比較して、「有職者」では「被雇用者・勤め人」が、「無職者」では「主婦」が最も多く増加した。また、「学生・生徒等」も増加した。また、「被雇用者・勤め人」のうち、「専門・技術職」が最も多く増加した。
- 原因・動機別では、過去5年平均と比較して、「健康問題」が最も増加し、次いで、「勤務問題」が増加した。「健康問題」の中で最も多い「病気の悩み・影響(うつ病)」と併せて計上された原因・動機では、「家庭問題」が最も多く、次いで、「健康問題」、「経済・生活問題」・「勤務問題」の順に多かった。また、このうち、過去5年平均と比較して、最も増加した原因・動機は「勤務問題」であった。
- 月別自殺者数では、主に「7月」以降で過去5年平均を上回り、特に「10月」が大きく増加した。「7月」以降は、「高齢者層」が「8月」、「9月」、「12月」に減少したものの、その他の月は、ほぼすべての年齢階級で増加した。
- 職業の有無別で過去5年平均と比較すると、ともに、「7月」以降は増加傾向であった。特に増加が目立った下半期の原因・動機別について、過去5年平均と比較すると、「若年層」の「有職者」では、「家庭問題」が最も多く、次いで「勤務問題」が、「無職者」では、「健康問題」が最も多く、次いで「家庭問題」が、「中高年層」の「有職者」では、「経済・生活問題」が最も多く、次いで「健康問題」が、「無職者」では、「健康問題」が最も多く、次いで「家庭問題」が、「高齢者層」の「有職者」では、「健康問題」が最も多く、「無職者」では「経済・生活問題」が増加した。